広報
東白川

発行
岐阜県加茂郡
東白川村公民館
印刷
今井印刷所

11月20日
『衆議院議員』総選挙せまる
＝最高裁判官も同時に＝

衆議院議員総選挙が十一月二十日に行なわれることになりました。この衆議院議員総選挙は、明治二十三年七月第一回総選挙が行なわれてから二十九回目の選挙にあたります。また、今度の選挙では、最高裁判官八人の国民審査も同時に行なわれます。

申すまでもなく、すべての選挙は、私たちの生活につらなるものであつて、私たちの幸福に何より大きな影響をおよぼすものです。政治の動きが、私たちの生活を保護し、あるいは規制しているという事実と、私たちが政治を身近に感ずるという意識、さらに政治に関心をもち、積極的にこれに参加しようとする態度との間には、まだ相当のひらきがあることは偽りない現実です。そして一般にはただ政治に動かされるだけの生活になりがちです。

政治について無関心、無自覚な人たちは、どうも政治が低調であればあるほど私たちの批判が大切になつてくるし、積極的な関心を必要とするのです。すなわち低調な政治の結果をうけるのは、私たち自身であり私たちがその責任を負わなければならないからです。

こうした意味からしてもすべての選挙に選挙民がこぞつて関心を高め、政治に参加する意欲と方法を身につけることが最も大切です。

けがすなすてるなこの一票

◇不在者投票もできます
投票の日に、やむを得ない用事のために村外へ行く人は、不在者投票ができますから、投票の前日までに役場内選挙管理委員会へ申出て下さい。

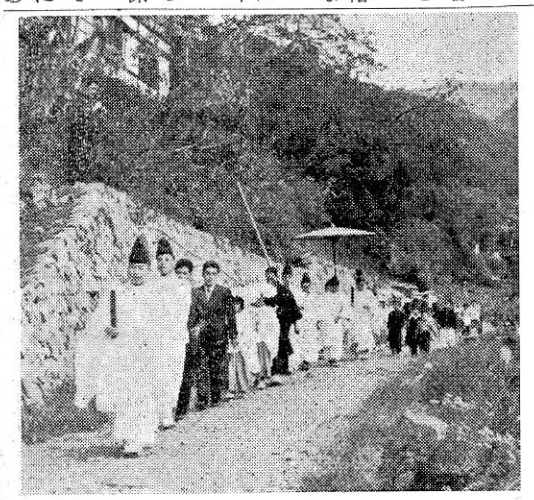
◇字の書けない人に代理投票
字の書けない人や身体障害のために手の不自由な人は代理投票ができますから投票日に投票所へ出頭して申出て下さい。

◇投票用紙は同時に渡します
衆議院議員の投票用紙と裁判官国民審査の投票用紙二枚を同時に渡しますので間違えないよう注意して下さい。

神社合併の念願なる
五加区盛大に「合祀祭」

五加区の念願だつた五つの部落の神社合併がこのほど実現し、去る十一月九日十日の両日にわたつて「合祀祭」が盛大に催されました。

これで、五加区は各部落まち〳〵なお祭りではなく、五加区一つの神社で一体の大祭が行われることになり、名称もあらため、「五加神社」となりました。五加神社実現は、昔からの伝統ある神社だけに、関係者の努力はもちろん区民一体の理解と協力のおかげでしよう。いま〳〵で五加区には、神社が各部落ごとにあり、その祭りもまちまちに行われていたために、神社を合併し祭も合同で行うという話は、例年の如く各種の会合であがつていながら積極的な合併運動が出ないまゝに恒例のお祭が行われていましたのが、昨年七月「婦人と青年の会」のテーマにこの問題をとりあげ積極的な実現運動を行うことを約束し、十二月区民を対象にアンケートを実施したところ、合併賛成が以外に多くあることがわかりました。そして今年一月、地区の婦人、青年、有識者の合併運動に関する懇談会を催し二月に「合併促進委員会」が発足しました。同委員会は、早速合併に関する調査および、区民の説得を行い八月迄には、神社庁、県知事あてに上申するまでにいたり、おりえかし、神社庁からも許可が下り、十月二十八日迄の、合併契約書の掲示がすんで県知事からも許可が下りたわけです。こうして合併に関する諸条件がそろい十一月一日から四日迄、神さまの引越しともいうべき「遷座祭」が行われ、旧柏本神社に「五加神社」が出きました。去る九月十日には盛大に「合祀祭」が催され、区内奉賛会による民舞「きねふり」ほか神楽、しし舞、献灯会と種々行われ「合祀祭」にふさわしいものでした。今後毎年春には五加神社大祭を行うことになり、区民の願いだつた、神社合併はこうして実現したわけです。区内の大きな革命とも云える神社合併を行つたことで、五加区はこれからの問題もこう云つた区民の信頼と自信によつて、益々くらしいい地区、東白川村の発展につながることでしよう。「五加神社が実現したのは若いもの、としよりとこだわりない民主的な運営と話合ができたおかげだ」と区民の一人は云つてくれました。


写真は神様の引越風景

結核＝その実態をさぐる！

～予防週間によせて～

結核は古くから亡国病といわれ、死亡率においても一位を示していたのでありますが、化学療法の進歩により逐年減退して死亡率一位の王座は循環器系の病気に占められたのであります。しかし前号の広報でも発表しましたとおり死亡率が激減したのだけであつて依然として患者の発生（発見）は減じていません。患者発生（発見）がかわらないのは、結核対策として昭和二十七、八年頃より行われている集団検診による効果のあらわれであると思います。一人でも多く、そして早く発見をする、結果にもとづき予防治療の管理対策を立てる。この一連した検診が毎年行われています。

村でも今年は九一％の成績を上げました。この中から要注意、要治療該当者が幾人かは発見されることでしようが、化学療法の進歩した今日、全幅の信頼をかけて治療、指導をうけられますようおすすめします。

近年結核患者が青年層より壮年層に比較的多く発生していると報じられていますので村の状況を見てみますと、現在届出患者二十一名の平均年令は四十三才となりやはり全国的な傾向と同じようになつています。これは一番発病率の多かつた青少年層には小中学校時代から健康管理が実行され事業所等においては予防管理が真剣にとり上げられてきた点が発病を減少させ、今までなかつた集団検診により壮年層に発見が多くなつた、或は固定していたものゝ再発が主で青年時代にかゝつていた者が多いといわれます。この結果が壮年層多発の現象を示していると思われます。

又結核は貧困病ともいわれています。こころみに、東白川村国保の三十四年度の総医療費は六四五万円を要しました。その内結核性疾患の占める医療費は五八九万円で九・一三％延患者一人当り二千八百円の医療費を要しているのであります。死亡率の一番高いまた患者の多い循環器系の病気では医療費三七〇万円で五・七三％延患者一人当り七三九円を要し、総医療費の延患者一人当り平均額七二九円であるところをみると先ず平均並でありますが、平均費用額より三・八倍もの医療費を必要とする結核性患者のまだ減少しないことは今だに貧困の原因を構成し、死亡率が激減したと手ばなして喜べない現実であります。国はこの結核対策として医療範囲の拡大、医療費国庫負担の増額を表明していますが一日も早くこの対策が実施されることが望まれます。

一方村の皆さんも三ヶ月目に一回は健康診断を受けられて再発防止、感染予防に充分意をはらわれますよう御願いします。（国保）

小児マヒ予防接種

来春から実施

本年六月から各地に多発した集団発生を含む小児マヒ患者の急激な増加の状況により緊急対策として予防接種を積極的にすゝめることになりました。

小児マヒについては、昨年伝染病予防法による指定を行ない、法定伝染病と同じように、伝染防止に必要な各種防疫措置がなされる事になつたのでありますが一方これと密接な関連をもち予防対策における重要な一環である予防接種による感受性者対策についてはワクチン量の不足から、極めて弱体であつたのですが、今回所要量確保の見通しがたつたので、予防接種を制度化することにより、感受性者対策を強化し、小児マヒをふせぐための対策を積極的にすゝめるため予防接種法の改正を行うことになりつゝあります。

法改正までしばしの猶予があり、その間流行期にかゝるため、さしあたり予算措置を行いいわゆる行政措置として予防接種を実施する事となりました。

本村に於ても、多数の方より、小児マヒの予防接種をするよう強い要望がよせられておりますが、厚生省県の方針に従い、感受性者対策につき万全を期すると共にワクチンの確保を期し来春より広範囲にわたつて予防接種を実施する予定であります。来春実施予定の該当者数は九八名ですが、ワクチン確保が出来ればさらに厚生省対策実施対象者非該当者にも範囲を広げて実施する予定です。

む・ら・の・な・か

知つているようで、案外知らない村の中、文と写真でひとめぐり　(1)

大明神分校

▽山の中の三十六の瞳△

「二十四の瞳」という映画があつたが、こちらはさしずめ「三十六の瞳」というところ、先生一人に生徒が十八人の小さな学校、これが越原小学校大明神分教場です。

この学校の最上級は二年生、三年生になつたらみんな本校へ通うわけだ。それにしても先生一人の学校はめずらしいそうだ。こゝの先生（藤井先生）に、一人だからのんきでしよう…とたずねると、とんでもない…というお話。教室でおしえることだけが先生の仕事ではない。一人一人の子供が元気に、伸び伸びと育つてゆくためには、こまゞゝとした生活面の補導が大切これが仲々大変なことだ。更に一校をあずかる立場としての仕事もあるこうなると親の代りでもある。それだけにこゝの学校は家族的なふん囲気に包まれている

毎日の掃除、生花の水替えもみんな子供達の日課である。

意外に広い教室の正面には立派なテレビがすわつている。これが先号で紹介した新しいテレビだ。子供達はそのテレビを見ながら手に手にノートを持つて感想を書き綴つている。次にあげるのはしまくら君の作文。

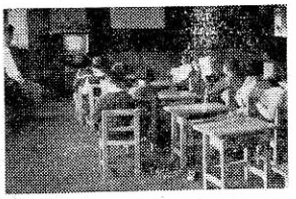
村長さんテレビをかつてくださつてほんとうにありがとうございました。テレビを見ていると、いろいろのことがわかり、おもしろくていつまでもみておりたくなります。いままでじゆテレビは、あめふりのようにみにくかつた。けれどぶんきようじようのテレビはよくうつつてはつきり見えます。……

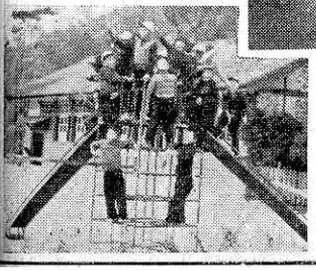
ここでもちやんと給食が行なわれている。給食婦がたつたひとりで、毎日献立表とにらめつこだが何しろ材料が思うように揃わないのが悩みだという事だ。

そこに分校があることは知つていても、自分の目でみ自分の心でたしかめた人は少ないのではなかろうか

訪れる人の少ない小さな学校でも子供達は元気一杯

木にのぼり、その実を振り落して、すべり台の上から種まきをしていた。大きな木も、小さな一つぶの実から生れる…十八人の小さな学校も、次の世代を育てる為の肥沃した畠なのだ。





大きく変る教育内容

＝道徳や科学技術を向上＝

学校における教育が、こどもたちの物の見方考え方を方向づけ、人間として、国民としての生き方を決定づける重要なものであることは今更云うまでもありません。国が将来どうなるかと云うことも、こどもたちがどのように教育されてゆくかと云うことによつて決るわけです。したがつて教育の問題は、親たちにとつても、国の将来にとつてもきわめて重大な問題です。

○

さて、この重要な小学校と中学校の教育内容が、こんご大きく改められようとしています。

これは戦後の新らしい教育を再検討した上で、更にわが国の現在と将來を考えて、その教育内容を改善していっそうの学習効果を挙げようとするもので、三十六年度から小学校に、三十七年度から中学校にと、それぞれ全面的に実施されることになり、すでに小学校にあつては三十四年度から、中学校では三十五年度からその移行の準備が進められています。

そこで、これらの教育課程がどのように変るか……その要点をあげてみますと

①道徳教育を徹底すること
②基礎学力を充実すること
③科学技術教育の向上を図ること
④地理歴史教育を改善充実すること
⑤情操をやしない、身体の健康安全の指導を充実すること
⑥中学校においては、生徒の進路、特性に応ずる教育を充分行うこと
⑦小、中学校の教育内容に一貫性をもたせること

以上のようなことが重点となつています。各教科、道徳、特別教育行事等、それ〴〵の分野から適切な指導が行われるわけです。

したがつて、今後教科書も全部新らしいものに作り変えられることになり、とりわけ、中学校では、いままでの教科が大幅に改訂され、特に新らしくできる技術家庭科は、科学技術教育向上という立場から、主として技術面の教育を行う教科として大きく取り上げています。

この村においても、新らしい教育課程の全面実施をめざして、いろ〳〵拡充整備を図らねばなりませんが特に、中学校技術家庭科については、校舎の増築、特別教室の拡充、教材整備等々、多くの問題に直面しています。

ともあれ、これからは学校の教育内容が大きく変つてきますので、こゝ二、三年は特に家庭や学校の連絡を密にし、可愛いこどもの教育のため、一層のご尽力とご協力をおねがいいたします。

（東白川村教育委員会）

▽青年建設班いよいよ発足

新しい農村を青年の手で！

最近、農村人口の減少が目立つていますが、これを年令別にみると青年層が特にはなはだしいようです。

今年の国勢調査でも未婚年令期（16才～25才）の青年人口は総人口四七二六人に対して十%、四八七人しか居りません。

これは農村の今後にとつて重大な問題ですが、村としてはこういつた意味から、農村の今後を背負う中堅青年の養成に力を入れることになりました。従来の青年学級とタイアップした学習と、勤労、生活の三位一体した活動による人づくりを狙いとした農村青年建設班がそれです。すでにこの広報紙上にても御知らせしましたが、期間は十一月～二月の内約六十日間、宿舎をきめて合宿生活をしながら、村有林整地、茶園造成などの仕事に従事し、現金収入を得ながら将来の農山村のにない手としての知識を習得するわけです。

応募資格は原則として満16才から25才までの青年男子となつていますが、班の編成についてはすでに各組長さん、関係団体を通じて具体的に参加希望者の募集が行われています。曲り角に来た農村の発展のために若い力を結集するよう広く村内青年の奮起が望まれるとともに、加茂地区では初めての意義あるこのこゝろみに対して、村内各位の協力が望まれます。

【寄生虫】完全駆除にあと一歩！！

先般寄生虫検査を実施致した折、保有卵者であつた方については駆虫薬の服用をお願いしましたが寄生虫の撲滅を期するため、去る十一月二日加茂保健所の協力を得て有卵者の再検査を実施しました。

該当者二百八十余名の内受検者は半数足らずでありましたが、検査の結果有卵者が二%に減少しており、完全駆除にあと一歩と云う所であります。

有卵者の方には駆虫薬の服用を願う事になつていますが、前回、再検査の折陰性であつた方でも、いつ寄生虫の卵が食物に混つて腹の中に入つているかわかりません。一月に一度はかならず一家揃つて駆虫薬を服用して下さい。

尚再検査の結果については再度有卵者の方のみ個人通知を致しましたので御了承のうえ、早急に駆虫薬を服用下さい。

まめニュース

米の出荷、十一月十二日現在で三九四六俵、予約数量の一〇六%。

○

今年のまゆのとれ高は七五四九貫、前年より一三%増。

○

東白川商工会は商工会法に基く創立総会を十一月十四日に開催した。白川地区に普及員設置の計画中。

結核健康診断

―各部落の成績

昨年より実施している一般住民結核健康診断を去る十月十一日より四日間にわたつて、実施しましたが昨年を上まわる受検成績を治めました。各部落毎の成績は次の通りであります。

尚、レントゲン写真の結果については、精密検査の必要な方のみ個人通知しました。なにも連絡のなかつた方は健康でありますからその旨御周知下さい。

組名	受診率	精査要検者数
大口	96,2	1
平田	81,2	17
下親田	50,0	
上親田	62,6	
中通	51,4	4
神付	83,3	3
加舎尾	73,4	1
中谷	76,8	
西洞	76,1	2
曲坂	71,0	1
日向	73,6	1
蔭地	72,9	5
栃山	85,7	2
黒淵	91,9	4
大明神	80,8	4
柏本	53,3	3
宮代	76,1	1
大沢	71,7	2
下野	49,3	
久須見	77,6	1
合計	73,1	52

右ツベルクリン反応検査一左レントゲン検査受診率

組名	受診率
大口	77,8
平田	79,3
下親田	71,0
上親田	76,7
中通	82,6
神付	83,3
加舎尾	100,0
中谷	76,2
西洞	100,0
曲坂	100,0
日向	91,1
蔭地	80,9
栃山	76,5
黒淵	77,8
大明神	72,2
柏本	100,0
宮代	83,3
大沢	67,7
下野	90,9
久須見	100,0
合計	81,3

▽昭和35年度村県民税第3期分期限内納付状況△

順位	組名	納付率	未納者
		%	人
1	大口	100	0
1	下親田	100	0
1	中通	100	0
1	加舎尾	100	0
1	西洞	100	0
1	曲坂	100	0
1	日向	100	0
1	栃山	100	0
1	黒淵	100	0
1	宮代	100	0
1	久須見	100	0
2	柏本	99,31	2
3	神付	97,05	1
4	中谷	94,17	1
5	上親田	92,64	1
6	大明神	92,34	2
7	陰地	91,06	2
8	平野	86,62	7
9	下沢	78,25	1
10	大野	60,77	2

村の図書室

レコードコンサートら
第二回『読書の広場』

今年の八月発足した「東白川地区読書協議会」には現在六つの読書サークル百人の会員によつて構成されています。

県立図書館より百冊の本を一括借用し、毎月サークル毎に交換を行つていますが、このほど、その第二回の「東白川地区読書協議会」が、来る十一月二十六日東白川村公民館において「ひばり」を加えて開催されます。

当日は、県立図書館による図書の交換及びレコードコンサートの実施、会員相互の親睦を深めるための話合い等が行われる予定ですので会員はもちろん、広く一般の方の参加をも歓迎します。又新しいグループがどしどし生れて一層読書活動が活潑になつてゆくことが「東白川地区読書協議会」の望みです。

☆図書室案内☆

しばらくぶりに新刊図書が入りましたのでご利用下さい。利用されるにあたりましては必らず、カードに記入のうえ、規則通りに持出して、他の読みたい人にめいわくのかゝらぬようしましよう。

11月26日～12月2日
秋の火災予防運動

火災の発生期をむかえて、国民の火災予防に関する認識を深めるために、十一月二十六日から十二月二日まで、全国的に秋の火災予防運動が展開されることになります。本村でも消防団秋季総合演習、横断幕、懸垂幕による宣伝、ポスターの配布等を行つてこの運動を実施する計画です。

村民の皆様には、充分火気に気を付けて、火災事故を防ぐよう心がけましよう

＝岐阜市内見学＝
お母さんたちのバス旅行

去る八日、絶好の秋日和に婦人会神土支部のお母さんたち六〇名のバス旅行が行われました。

日頃忙しいお母さんたちもこの日一日は無礼講、岐阜県の中心地である岐阜市内の見学に大喜びだつた。

六六人のり大型バスは快適な旅で日頃の仕事のことも忘れて、リクレーションに恵まれていないお母さんたちのバス旅行は年々欠かすことが出来ない行事になつてゆくようです。

低周波治療器を設置
東白川病院

東白川病院に低周波治療器が設置されました。これは電気刺戟による治療で次のような症状に効果があります。

(1)筋の運動障害と萎縮
(2)関節の障害
(3)姿勢異常、変形、發育異常
(4)筋を用いる運動の前後
(5)マッサージの有効な場合
(6)脳出血による四肢麻痺、夜尿症、陰萎縮

一応病院で相談になつて見てご利用下さい。（国保）

村の職員とその仕事

村の職員として、役場、病院、学校給食関係等で働いています職員の数も、最近、各種の業務の拡大にともなつて、だんだん増えて来ており、新らしい顔ぶれの人たちが多くなりつゝありますが、現在のところでは、別表のような顔ぶれでそれぞれ業務に専念しています

職名	氏名	分掌事務の大要
村長	河田　勘市	決裁
助役	安江　正文	村長補佐
収入役	小池　正二	会計
教育長	安江又右エ門	教育行政
事務吏員	樋口敬一郎	庶務、選挙
〃	村雲　康彦	国民健康保険
〃	安江　公平	厚生、国民年金
〃	桂川　直衛	戸籍関係、消防
〃	田口　博	税務、土地家屋
〃	安江　征六	納税貯蓄組合
〃	安江　輝夫	主食配給
〃	今井　哲	土木、林務、耕地
〃	安江　寛雄	農業土木、登記
〃	高木　孜	衛生
〃	藤井　茂樹	統計、農業振興
〃	村雲　寛	農業振興
〃	早瀬　良子	会計助務
〃	安江万代子	国保助務
〃	古田　政春	農村青年建設班
〃	桂川　真弘	議会
議会書記	田口　茂	農業委員会
農業委員会書記	田中　芳宏	教育委員会
教育委員会書記	口川　十	農業改良普及
技術吏員	平岡　洋子	栄養指導
栄養士	安江　よし子	
使丁婦	坪　歌子	学校給食
炊事	大今井　正子	〃
〃	今井　さち子	〃
〃	古田　咲江	〃
〃	安江　ちづ	〃
〃	桂川　真文	〃
〃	桂川　意美	〃
〃	安江　津子	〃
〃	井戸　晃千代	〃
技術吏員	佐分　利信三	東白川病院長
〃	林　博敬	医師
〃	武内　俊彦	(嘱託)
薬剤師	高木　鋭子	薬剤士
事務吏員	安江　正夫	事務長
〃	古田　悦子	病院事務
看護婦	岩佐　よし江	婦長
準看護婦	今井　君子	
〃	今井　峰子	
見習看護婦	安江　幸	
〃	安江　みさを	
〃	安江　の子	
〃	田口　昌子	
〃	田口　かち子	
運転手	苅田　丑夫	自動車運転
炊事婦	松島　す子	病院給食
〃	岡庭　千春	〃
看守人	古田　忠一	村有林管理

ろばた放談 —14—

百田という田んぼがあるそうです。それは段々になつたたくさんの田んぼですが昔、足の大きな人が田植をして、だんだん上へのぼつて来ました。最後の田を植え終つて、ひい、ふう、みいと数えましたがどうしても九十九しかありません。「おかしいな?」と首をかしげてふと足もとをみるとその足の下に残りのひとつがかくれていました……これは笑い話ですから面白かつたらどうぞお笑い下さい。

○

さてそれから少し考えてみましよう。こんな小さな田、それがいくつも重なり合うようになつている姿、これが私達の農業を象徴しているのではないでしようか。畑は段々、田はこまかく、そして収入も少ない。いくら山があるからといつても山の利益を片つぱしから農業が食つてしまつていては、私達の生活はいつまでも進歩しません。進歩がないということは生活が変らないということではありません。なぜならば農業以外の部門はどんどん進歩しています。それにつれて生活水準も上ります。こつちが変らなくてもむこうが変つてしまうから、生活は今より一段と苦しくなるわけです。他の産業と同じ速度で発展しても今の遅れは取り戻せません。だからむしろ農業は他の産業以上のスピードで發展しなければならない、これが現在の農業に与えられた課題というものでしようか。

○

この文を読んでためいきをついているのは年寄りでしようか若い人でしようか?、年寄りだつて…それで安心しました。年寄りはその昔、こつこつと鍬をふるつて足の下にかくれてしまうような田を造つてくれました。今度は今の若い者が、ブルドーザーで集団茶園や桑園を造つたり、牛を二頭も三頭も飼う番です。

○

「曲り角」の農業とかいつても他人に頼つていてはだめです。右曲りも左曲りも、自分で決めて自分の力で進んで行く事が、百姓の土性骨に恥じない生き方ではないでしようか。